お ひ な さ ま を 作 ろ う ！

対象児：３歳児　ゆり組
作成者：坂本七海
作成日：2022.02.15

〇ねらい　イメージを持って制作し、表現することの楽しさを感じる。

〇保育の振り返り

もう少しで3月。春に向けて雛飾りを作るゆり組さん。個性あふれるいろんなお雛様ができるといいな～と思い、着物（折り紙）の種類をたくさん用意してみました。子ども達は、「先生何持ってきたん？」「この折り紙可愛い！」と、興味津々です。3月はおひな祭りがあることを伝え、何日かに分けて少しづつ制作を楽しみました。「今日はどの部分作るん？」と、毎日ワクワクしている姿がたくさん見られ、「私のお家の玄関にもお雛様飾っとるんよ～」「お姉ちゃんの見たことある！」と、自分のお家でのことも話してくれました。完成に近づく雛飾りの最後の仕上げは、顔を描くことにしました。子どもたちと一緒に、「どんな顔にする？」と考え、話し合ってから進め、「これは、なあに～？って見てるところなんよ」「ほっぺも描いてもいい？」「みて！眼鏡かけてみた！」と、楽しそうな声が聞こえ、どれもいい作品に仕上がり、子どもが活動に取り組む姿や話し合う姿を見ていて保育者も楽しむことができました。保育者が制作を進める過程や、制作の意味、季節感などを工夫して考えることで、子ども達がイメージを持って取り組むことができ、子ども自身が表現することの楽しさを深く感じられる、ということを学びました。

みんなが作った作品を紹介したり、お部屋に飾ることがとても楽しみです。（自立心、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現）